

令和3年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	「トヨオカフルーツエール」開発・普及・PR事業
事業主体 (連絡先)	豊丘村
事業区分	(8)その他地域の元気を生み出す地域づくりに資する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	394,988 円 (うち支援金: 315,000 円)

事業内容

豊丘村と、豊丘村の農産果物のPRのため、『「トヨオカフルーツエール」開発・普及・PR事業』を行いました。

令和元年度から果物(桃)を原料としたビール(税法上は発泡酒)「トヨオカフルーツエール 桃の誘惑」を製造・販売し、令和3年度も引き続き実行委員会で普及活動を行いました。

また、新たな商品として、市場で高い評価の豊丘村産「りんご」を原料とした「トヨオカフルーツエール 林檎の魅惑」を開発・製造し、販売・PRを行いました。

また、また、ふるさと納税の返礼品とし、地域外へのPRをしました。



【林檎の魅惑解禁イベント】

【目標・ねらい】

- ①果物を原材料とした商品の製造・販売・PRによる農業振興
- ②都市部へのPR
- ③近隣町村との連携による、相乗効果を見込む

事業効果

- ①令和元年度・2年度に引き続き、生食用としてJAへ出荷ができない桃の出荷を呼びかけました。また、今年度から新たに、りんごを原料とした商品を開発し、りんごの出荷も呼びかけました。形・サイズ・病害虫の被害等により生食用として出荷できないものを原料として使用することにより、農産物(果物)の販路拡大と農業所得の向上が見込まれます。また、生産者がイベントに参加することにより、意欲向上にも繋がりました。
- ②現在はコロナ禍で豊丘村に足を運んでもらえない都市部の方へのPRのため、ふるさと納税の返礼品としました。関東圏・関西圏を中心に各地の方から申し込みがありました。
- ③「桃の誘惑」の解禁イベント(豊丘オクトーバーフェスト)では、近隣町村の特産品である酒類を販売するイベントとし、各農家・事業者が出店しました。それぞれのファンによる相乗効果に繋がりました。

※自己評価【B】

【理由】

PRの継続と、新たな商品開発により、生産者支援を行うことができた。
また、イベントの開催により、新たな消費者とリピーターの獲得ができ、知名度向上に繋がった。

今後の取り組み

今後は、この事業を道の駅の運営会社である(株)豊かな丘へ引き継ぎ、商品の製造・販売・PRを行っていきます。

また、コロナ禍でも地域外の人に手に取ってもらえるよう、ふるさと納税の返礼品としてもPRを続けます。

商品から、豊丘村=おいしい果物が豊富にある村というイメージを定着させ、今後、果物狩りや農産物の購入のために豊丘村へ足を運んでもらう機会へと繋げていきます。